



専攻医の声 Q&A



神経・脳血管内科
3 年次
山田 真央佳

Q プログラムの特色を教えてください。

A 本プログラムの特徴は、初期対応力の徹底した養成と、幅広い内科・神経疾患を段階的に学べる点にあります。内科 1 年次には救急科・救命科ローテーションと救急当直を通じて初療から主体的に関わり、実践的な対応力を身につけます。また、内科 J-OSLER に必要な症例を確保できるよう、専門外ローテーションも柔軟に調整可能です。2 年次には連携病院から研修先を選択し、私は亀田総合病院の脳神経内科で脳卒中に加え自己免疫疾患や神経変性疾患を急性期から終末期まで幅広く経験し、General Neurology の視点を養いました。3 年次以降は神経病院での回診や短期研修を通じ神経難病も経験可能で、急性期脳卒中を中心に幅広い診療力を高められる環境です。

Q この病院で研修を受けて良かったことは？

A 多摩総合医療センターは多くの診療科を有する総合病院で、他科コンサルトを通じて多様な疾患を経験できる点が魅力です。神経・脳血管内科では脳卒中に加え、隣接する神経病院との連携により神経変性疾患や筋疾患など幅広い症例に触られます。毎朝の脳外科とのカンファレンスでは外科的視点も学ぶことができ、診療の理解が深まりました。過度に忙しすぎず症例も十分な環境で、一例ごとに丁寧に向き合いながら診療の質を高められる点も魅力です。指導医の丁寧な指導や学会発表の機会にも恵まれ、臨床・学術の両面で成長できる環境だと実感しています。